

統合生命科学特別講義Ⅵ（1単位）のお知らせ

テーマ：「熱帯での昆虫生態研究」

講師：市岡 孝朗（京都大学大学院人間環境学研究科 教授）

授業の目的：

東南アジア熱帯雨林において生物種間相互作用網の様々な特性について20年以上にわたって研究を進めてきた経験をもとに、多様な生物の興味深い進化生態学的な特性と今後の課題について紹介する。

授業の概要：

1 日目

東南アジア域の熱帯雨林の昆虫個体群が示す時間的変動パターン
熱帯雨林に生息するアリの群集生態

（セミナー）オオバギ属のアリ植物をとりまく生物間相互作用網

2 日目

東南アジア熱帯低地林における種子食性昆虫の資源利用様式
土地利用が及ぼす熱帯林の生物多様性への影響

授業の進め方：講義とレポート提出

対象：大学院生、※学部4年生の聴講も認めますが学部講義を欠席した場合の特別処置はありません

日時：1月10日（水） 10：30－12：00
13：00－14：30
14：50－16：20 （セミナー）
1月11日（木） 10：30－12：00
13：00－14：30

場所：伊都地区：ウエスト1号館D棟10階 W1-D-1025室
箱崎地区：システム生命科学府講義棟1階 セミナー室3
病院地区：ウエストウイング7階 講義室A

=====
なお下記教室セミナーを、講義の一部として行います。

セミナータイトル：「オオバギ属のアリ植物をとりまく生物間相互作用網」

日時：1月10日（水） 14：50－16：20

場所：伊都地区：ウエスト1号館D棟10階 W1-D-1025室
箱崎地区：システム生命科学府講義棟1階 セミナー室1、2
病院地区：ウエストウイング7階 講義室A

* 受講希望者は、1月5日（金）までに、システム生命科学府事務室（West 1号館B棟3階B-306号室）に申し込むこと。

◆◆◆ 統合生命科学特別講義VI セミナーのお知らせ ◆◆◆

タイトル： オオバギ属のアリ植物をとりまく生物間相互作用網

講師： 市岡 孝朗（京都大学大学院人間環境学研究科 教授）

日時： 1月10日（水） 14：50～16：20

場所： 伊都地区：ウエスト1号館D棟10階 W1-D-1025室
箱崎地区：システム生命科学府講義棟1階 セミナー室3
病院地区：ウエストウイング7階 講義室A

概要：

世界中の熱帯雨林地域には、アリに営巣場所を提供し、そのアリ（共生アリ）に対植食者防衛を委ねる、「アリ植物」と呼ばれる多数の植物種が分布している。東南アジアの熱帯雨林地域に分布の中心をもつトウダイグサ科オオバギ属には25種以上の多様なアリ植物が進化しており、ボルネオ島にはその大部分が分布している。演者は、12種のアリ植物を含む17種のオオバギが分布する、ボルネオ島の北西部、マレーシア・サラワク州のランビル・ヒルズ国立公園を調査地として、オオバギ—アリの相利的な共生系と、その共生系と密接な関係をもつ多様なオオバギの植食者、アリを餌とする捕食者、アリ巣内に住み込むカイガラムシ類が織りなす生物種間相互作用網の様々な特性について20年以上にわたって研究を進めてきた。講演では、共同研究者とともにこれまでに解明してきた、オオバギ属をめぐる多様な生物の興味深い進化生態学的な特性と今後の課題について紹介する

対象： 大学院生、学部4年生、教職員

参加費等： 無 料

受講希望者は1月5日（金）までに、システム生命科学府事務室に申し込むこと。

定員： 30名程度

問合先： 九州大学理学部等事務部 システム生命科学府事務室
（伊都ウエスト1号館B棟3階 B-306号室）
E-mail：sfs-jimu@sci.kyushu-u.ac.jp